

# 発明抽出から明細書作成まで 一気通貫 AI 特許ツール徹底比較 2025

国内外 30 以上のツールを網羅的に調査・比較分析

---

2025 年 2 月  
Claude Opus 4.6

## 目次

目次 .....	2
1. エグゼクティブサマリー .....	3
2. 一気通貫対応度比較表 .....	4
3. 日本国内ツール詳細 .....	5
3.1 AI Samurai ONE/ZERO (株式会社 AI Samurai、トヨタグループ) .....	5
3.2 Tokkyo.Ai / MyTokkyo.Ai (リーガルテック株式会社) .....	5
3.3 Patentfield (Patentfield 株式会社、京大発ベンチャー) .....	5
3.4 その他の国内注目ツール .....	5
4. 海外主要ツール詳細 .....	6
4.1 PatSnap Eureka (シンガポール) .....	6
4.2 Questel Orbit + Sophia (フランス) .....	6
4.3 Clarivate Derwent Innovation + Rowan Patents .....	6
4.4 LexisNexis PatentSight+ / Protégé .....	6
5. 2024～2025 年の新興ツール .....	7
5.1 Ankar AI (フランス発、Palantir 出身者が創業) .....	7
5.2 Patlytics (米国、Google も採用) .....	7
5.3 Perplexity Patents (特許検索の民主化) .....	7
5.4 Solve Intelligence (英国、Y Combinator 卒) .....	7
6. 明細書ドラフト専門ツール .....	8
7. 業界を変える 3 つの構造的トレンド .....	9
7.1 エージェンティック AI の台頭 .....	9
7.2 M&A とベンチャー投資の加速 .....	9
7.3 人間の監督の法的必要性の明確化 .....	9
8. 結論：ツール選定の指針 .....	10
日本企業の IP 部門向け推奨 .....	10
グローバル展開を視野に入れる大企業向け .....	10
「ベスト・オブ・ブリード」アプローチ .....	10
9. 参考文献 .....	11

## 1. エグゼクティブサマリー

生成 AI の急速な進化により、特許業務の自動化は 2024～2025 年に劇的な転換点を達えた<sup>[45]</sup>。発明のアイデア抽出から先行技術調査、明細書ドラフト作成、さらには拒絶対応まで「一気通貫」で対応できるツールが登場し始めているが、真にフルパイプラインをカバーするプラットフォームは依然として限られる。本レポートでは国内外 30 以上のツールを調査し、各ツールの機能・AI 活用度・一気通貫対応度を比較する。

**2024～2025 年の主要投資動向：**Solve Intelligence **4,000** 万ドル調達<sup>[33,34]</sup>、Ankar AI **2,000** 万ドルシリーズ A<sup>[29,30]</sup>、Patlytics **1,400** 万ドルシリーズ A<sup>[31]</sup>、トヨタグループによる AI Samurai 完全子会社化<sup>[3]</sup>

## 2. 一気通貫対応度比較表

特許業務を「①発明抽出・アイデア創出 → ②先行技術調査・分析 → ③明細書ドラフト・クレーム生成 → ④出願支援・拒絶対応」の4段階に分けた場合の各ツールのカバー範囲を示す。

ツール名	国	①発明抽出	②先行技術	③明細書作成	④拒絶対応	一気通貫度	日本語	生成AI
AI Samurai ONE/ZERO	日本	◎	◎	◎	◎	★★★★★	◎	◎
Solve Intelligence	英国	◎	○	◎	◎	★★★★★	△	◎
Ankar AI	欧州	◎	◎	◎	◎	★★★★★	×	◎
Patlytics	米国	◎	◎	◎	◎	★★★★★	△	◎
PatSnap Eureka	SG	◎	◎	○	△	★★★★☆	◎	◎
Questel Orbit+Sophia	仏	○	◎	◎	◎	★★★★☆	◎	◎
XLSCOUT	印	◎	◎	○	×	★★★★☆	△	◎
Tokkyo.Ai	日本	○	◎	○	△	★★★★☆	◎	◎
DeepIP	米国	△	○	◎	◎	★★★★☆	△	◎
Rowan (Clarivate)	米国	×	×	◎	◎	★★★★☆	×	◎
Patentfield	日本	×	◎	×	×	★★☆☆☆	◎	◎
IPRally	FI	×	◎	×	×	★★☆☆☆	△	◎
Amplified AI	米国	×	◎	×	×	★★☆☆☆	○	◎
Perplexity Patents	米国	×	◎	×	×	★★☆☆☆	△	◎
Clarivate Derwent	英国	×	◎	×	×	★★☆☆☆	◎	○
LexisNexis PatentSight+	米独	×	◎	×	×	★★☆☆☆	○	◎
Anaqua	米国	○	○	×	×	★★☆☆☆	○	○
PatentPal	米国	×	×	◎	×	★★☆☆☆	×	◎

(◎=高度に対応 ○=基本対応 △=限定的 ×=非対応)

### 3. 日本国内ツール詳細

#### 3.1 AI Samurai ONE/ZERO（株式会社 AI Samurai、トヨタグループ）

日本市場で最も一気通貫性が高いツール。大阪大学・北陸先端大発のスタートアップとして 2015 年に設立され<sup>[1]</sup>、2025 年 6 月にトヨタテクニカルディベロップメント (TTDC) に完全子会社化された<sup>[3]</sup>。

主力製品「AI Samurai ONE」は、発明内容を自然言語で入力するだけで **IPC 自動推定→先行技術調査→類似文献 5 件抽出→クレームチャート自動生成→特許登録可能性ランク評価 (A~E)** を実行する<sup>[2,4]</sup>。この「審査シミュレーション」機能は世界唯一とされる。2024 年以降、GPT 連携による明細書自動生成（約 3 分）、図面 AI 解読、拒絶対応自動補正（2025 年新機能）が順次追加された<sup>[5]</sup>。

- **強み**：発明創出から拒絶対応までの完全一気通貫、トヨタグループの後ろ盾、審査シミュレーション機能
- **弱み**：日本特許 DB 中心でグローバル対応が発展途上、エンタープライズ価格が非公開

#### 3.2 Tokkyo.Ai / MyTokkyo.Ai（リーガルテック株式会社）

月額 **7,000 円** からという低価格で注目を集め<sup>[7,8]</sup>。GPT-4o 実装の生成 AI による明細書ドラフト生成、AI セマンティック検索、ChatTokkyo を備え、2025 年には日本初の AI エージェント搭載特許プラットフォーム「MyTokkyo.Ai」へ進化。出願依頼文作成時間を **90% 削減** した導入事例（貞印）がある<sup>[6]</sup>。

#### 3.3 Patentfield（Patentfield 株式会社、京大発ベンチャー）

調査・分析に特化したプラットフォームとして 9,000 人以上の登録者を持つ<sup>[10]</sup>。独自 AI によるセマンティック検索、最大 120 種の属性クロス集計、2024 年 7 月に追加された **Patentfield AIR** (GPT-4o 等を最大 1 万件に一括適用) が強み<sup>[9]</sup>。月額 3 万円から利用可能。ただし明細書ドラフト・クレーム生成機能は搭載されていない。

#### 3.4 その他の国内注目ツール

- **サマリア (Summaria)**：弁理士が開発した無料の特許文書読み解き支援 AI。AI エージェントを日本の特許情報サービスとして初めて搭載<sup>[11,12,47]</sup>。
- **PatentSQUARE（パナソニック）**：30 年以上の歴史。2024 年 9 月に知財 BI ダッシュボードをリリース<sup>[14,15]</sup>。
- **Amplified AI**：検索式不要の意味検索が 87.33% の成功率を達成<sup>[13,16]</sup>。

## 4. 海外主要ツール詳細

---

### 4.1 PatSnap Eureka (シンガポール)

**2億600万件**以上の特許と**20億超**の構造化データポイントを基盤に、独自 LLM 「PatSnapGPT」と7つの専門 AI エージェントを展開<sup>[17,18]</sup>。TRIZ・第一原理に基づくアイデア生成、先行技術調査、FTO 分析、AI 明細書ドラフト生成まで広範にカバー。日本語インターフェース完備<sup>[20]</sup>。2021年に SoftBank Vision Fund 2 と Tencent のリードで3億ドル調達<sup>[19]</sup>。

### 4.2 Questel Orbit + Sophia (フランス)

世界の特許出願の**99.7%**をカバーするデータベースを擁し<sup>[21]</sup>、2024年3月にAI明細書ドラフトスタートアップ Qatent を買収<sup>[23]</sup>。2025年10月に発表された Sophia はIP業界初のクロスプラットフォーム AI アシスタントで、ドラフト作成時間**40%削減**を実現<sup>[22]</sup>。

### 4.3 Clarivate Derwent Innovation + Rowan Patents

Derwent World Patents Index は270名以上の専門編集者が作成した**6,500万件**のファミリー要約を持ち、データ品質では業界最高峰。2024年12月に独自 AI Search を導入<sup>[24]</sup>。同年7月にRowan Patents を買収し明細書ドラフト機能を獲得<sup>[25,26]</sup>。Rowan は\$112 拒絶を**44%削減**した実績がある。

### 4.4 LexisNexis PatentSight+ / Protégé

特許ポートフォリオの戦略分析に特化。2024年10月にTechDiscovery<sup>[28]</sup>、2025年9月にProtégé (IP 戦略 AI アシスタント) を発表<sup>[27]</sup>。独自の Patent Asset Index で経営層向けの洞察を提供するが、明細書ドラフト機能は持たない。

## 5. 2024～2025 年の新興ツール

---

### 5.1 Ankar AI（フランス発、Palantir 出身者が創業）

2024 年設立、2025 年 12 月に Atomico 主導で **2,000** 万ドルのシリーズ A を調達<sup>[29,30]</sup>。1.5 億件以上の特許と 2.5 億件の科学論文を検索し、発明キャプチャから審査官対応まで統合的にカバー。L'Oréal、Valeo など欧州大手が採用。

### 5.2 Patlytics（米国、Google も採用）

2024 年 1 月共同創業、2025 年 2 月に Next47 主導で **1,400** 万ドルのシリーズ A を調達<sup>[31]</sup>。発明開示からドラフト、先行技術調査、侵害検出、OA 対応、訴訟支援まで網羅。Google、Xerox、旭化成、Quinn Emanuel が顧客。

### 5.3 Perplexity Patents（特許検索の民主化）

2025 年 10 月にベータ版が無料公開<sup>[32]</sup>。自然言語で質問するだけで USPTO・EPO・WIPO・学術論文を横断検索する AI エージェント型ツール。ドラフト・ポートフォリオ管理機能はなく、リサーチ・発見ツールとしての位置づけ。

### 5.4 Solve Intelligence（英国、Y Combinator 卒）

2025 年 12 月に Thomson Reuters の再投資を含む **4,000** 万ドルを調達<sup>[33,34]</sup>。発明開示管理からクレーム・明細書ドラフト、図面生成、OA 対応をフル実装。6 大陸の数千名が利用し、**25～60%** のドラフト時間削減が報告されている。JPO・CNIPA・KIPO 含む多法域対応。

## 6. 明細書ドラフト専門ツール

---

ドラフト作成に特化したツール群も 2024～2025 年に大きく進化した。

- **DeepIP（旧 davinci）** : Microsoft Word アドインとして動作する AI アシスタント。Am Law 100 事務所や Fortune 500 企業が採用。JPO コンプライアンスにも対応<sup>[35,36]</sup>。
- **PatentPal** : クレームからワンクリックで明細書・図面を生成。約 40% の作業時間削減<sup>[45]</sup>。
- **ClaimMaster / Patent Bots** : Word 上のフルーフリーディングを得意とし、2024～2025 年に GPT 連携を追加<sup>[45]</sup>。
- **XLSCOUT Drafting LLM** : 日本形式（JPO 準拠）に対応する数少ない海外ドラフトツール。LLM 群でパイプライン全体をカバー<sup>[37]</sup>。
- **Rowan Patents (Clarivate)** : クレーム・明細書・図面を同期管理する統合環境<sup>[26]</sup>。

## 7. 業界を変える 3 つの構造的トレンド

---

### 7.1 エージェンティック AI の台頭

従来の「プロンプトに応答する AI」から、複雑なタスクを自律的に分解・実行する AI エージェントへの移行が進んでいる<sup>[19]</sup>。PatSnap の 7 つの専門 AI エージェント<sup>[17]</sup>、Tokkyo.Ai の MyTokkyo.Ai<sup>[7]</sup>、サマリアの AI エージェント<sup>[47]</sup>、Perplexity Patents のリサーチエージェント<sup>[32]</sup>がこの潮流を体現する。

### 7.2 M&A とベンチャー投資の加速

Clarivate による Rowan 買収<sup>[25]</sup>、Questel による Qatent 買収<sup>[23]</sup>、トヨタによる AI Samurai 完全子会社化<sup>[3]</sup>、Solve Intelligence (4,000 万ドル)<sup>[33]</sup>・Ankar (2,000 万ドル)<sup>[29]</sup>・Patlytics (1,400 万ドル)<sup>[31]</sup>への大型投資と、2024～2025 年は特許 AI 分野への資本流入が一気に拡大した。

### 7.3 人間の監督の法的必要性の明確化

USPTO は 2025 年 11 月に AI は道具であり発明者にはなれないと改めて明確化。JPO の IP 高裁も 2025 年 1 月に DABUS 判決で AI 発明者を否定。日本弁理士会 (JPAA) は 2025 年 4 月に AI 利用ガイドラインを発表した<sup>[44]</sup>。AI は生産性の加速器であり、特許実務家の代替ではないという原則が制度的に確立されつつある。

## 8. 結論：ツール選定の指針

### 日本企業の IP 部門向け推奨

日本語完全対応と JPO 出願実務への最適化を重視するなら **AI Samurai ONE** が現時点で最有力<sup>[2,4]</sup>。コスト重視で中小企業や個人発明家であれば **Tokkyo.Ai** が月額 7,000 円から利用可能<sup>[7]</sup>。調査・分析の深さを求めるなら **Patentfield + AIR** と明細書ツールの併用が効果的<sup>[9,10]</sup>。

### グローバル展開を視野に入る大企業向け

**PatSnap Eureka**（最も包括的な AI ネイティブプラットフォーム）<sup>[17,18]</sup>、**Questel Orbit+Sophia**（検索精度とドラフト品質の両立）<sup>[21,22]</sup>、**Patlytics/Ankar**（最新世代のフルスタック AI）<sup>[29,31]</sup>が候補。

### 「ベスト・オブ・ブリード」アプローチ

「一気通貫」を単一ツールで完結させる必要は必ずしもない。IPRally のグラフ AI 検索<sup>[42]</sup>と Solve Intelligence のドラフト機能<sup>[33]</sup>、Patentfield の分析力<sup>[9]</sup>と AI Samurai の出願支援<sup>[4]</sup>を組み合わせるなど、各段階で最強のツールを選択して統合するアプローチも有力な選択肢である。

特許 AI 市場は年単位で急速に進化しており、2026 年以降もエージェンティック AI の深化とマルチモーダル対応（図面生成・化学構造認識）の向上により、真の一気通貫はさらに現実的になるだろう。

## 9. 参考文献

---

- [1] STARTUP DB, 「AI Samurai」企業情報. <https://startup-db.com/companies/AKxyGk1Ukn3ZVqor>
- [2] 内閣府 知的財産戦略本部, 「サービス紹介資料 株式会社 AI Samurai」, 2025 年 2 月.  
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kousou/2025/dai3/siryou5.pdf>
- [3] 日本経済新聞, 「トヨタ系の AI サムライ 特許文書の補正案、AI が数分で作成」.  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOTG110QZ0R10C25A6000000/>
- [4] AI Samurai 公式サイト, AI Samurai ONE 製品情報. <https://aisamurai.co.jp/aisamuraione/>
- [5] AI Samurai, 「生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします」, PIJC2024.  
<https://aisamurai.co.jp/2024/09/20/pijc2024/>
- [6] Tokkyo.Ai, 「知財生成 AI 活用例：出願依頼文の作成時間を 90% 削減」.  
<https://www.tokkyo.ai/pvt/notice/case1/>
- [7] Tokkyo.Ai プライベート AI 特許 公式サイト. <https://www.tokkyo.ai/pvt/>
- [8] 株式会社プロパティ, 「TokkyoAi 検索システム」. <https://www.property.ne.jp/sysytem/tokkyoai/>
- [9] Patentfield 株式会社, 「Patentfield AIR: 生成 AI 特許検索・調査・分析・査読」.  
<https://evort.jp/presentations/patentfield/patentfield-air>
- [10] Patentfield 株式会社, AI 特許検索・分析プラットフォーム. <https://evort.jp/presentations/patentfield/platform>
- [11] 株式会社知財の楽校, 「サマリアのご紹介」. <https://www.patentamuse.com/articles/recommended-sites-summaria/>
- [12] PR TIMES, 「サマリアに知財実務を支援する革新的な 3 つの機能が追加」.  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000086119.html>
- [13] VOIX biz, 「サマリアが特許検索競技大会に挑戦し再現率 85%以上を達成」.  
<https://voix.jp/biz/news/163014/>
- [14] +VISION, 「パナソニック PatentSQUARE が知財 BI ダッシュボードをリリース」.  
<https://vision00.jp/topic/9454/>
- [15] Panasonic, 「PatentSQUARE 導入事例」.  
<https://www.panasonic.com/jp/business/its/patentsquare/casestudy.html>
- [16] Amplified AI 公式サイト. <https://www.amplified.ai/>
- [17] PatSnap, 「AI Agents for IP & R&D Innovation Platform | Patsnap Eureka」.  
<https://www.patsnap.com/solutions/eureka>
- [18] Patsnap Eureka 公式サイト. <https://eureka.patsnap.com>
- [19] PYMNTS.com, 「Agentic AI Takes Over Patent Search」. <https://www.pymnts.com/artificial-intelligence-2/2025/agentic-ai-takes-over-patent-search/>
- [20] PR TIMES, 「PatSnap は海外特許の日本語検索・日本語表示を提供開始」.  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000055070.html>
- [21] Questel, 「Orbit Intelligence - Patent Analytics & Search Software」. <https://www.questel.com/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>
- [22] Business Wire, 「Questel Launches New AI-Assisted Sophia Platform for IP」, 2025 年 10 月.  
<https://www.businesswire.com/news/home/20251022396883/en/>
- [23] Questel, 「AI Patent Drafting Software」. <https://www.questel.com/patent/patent-preparation-patent-prosecution-process-copilots/patent-drafting-software-with-ai/>
- [24] PR Newswire, 「Clarivate Launches AI-Powered Patent Search Solution in Derwent」, 2024 年 12 月.  
<https://www.prnewswire.com/news-releases/clarivate-launches-ai-powered-patent-search-solution-in-derwent-302329750.html>
- [25] Clarivate, 「Clarivate Acquires Rowan TELS」. <https://clarivate.com/news/clarivate-acquires-rowan-tels-to-enhance-support-for-patent-practitioners/>
- [26] Clarivate, 「Rowan Patents」. <https://clarivate.com/intellectual-property/ip-management-software/rowan-patents/>
- [27] LexisNexis IP, 「Protégé AI Assistant in PatentSight+」. <https://www.lexisnexisip.com/resources/lexisnexis-announces-protege-in-patentsight/>
- [28] IPWatchdog, 「LexisNexis Launches AI-Powered TechDiscovery Tool」.  
<https://ipwatchdog.com/press/lexisnexis-intellectual-property-solutions-launches-ai-powered-lexisnexis->

techdiscovery-tool/

- [29] Fortune, 「Ankar secures \$20 million Series A funding」, 2025 年 12 月.  
<https://fortune.com/2025/12/17/exclusive-palantir-alums-aiming-to-streamline-patent-filings-with-ai-secure-20-million-in-series-a-venture-funding/>
- [30] Artificial Lawyer, 「Ankar Bags \$20m For AI-Driven Patent Platform」.  
<https://www.artificiallawyer.com/2025/12/17/ankar-bags-20m-for-ai-driven-patent-platform/>
- [31] TechCrunch, 「Patlytics raises \$14M for its patent analytics platform」, 2025 年 2 月.  
<https://techcrunch.com/2025/02/24/patlytics-raises-14m-series-a-funding-for-its-patent-analytics-platform/>
- [32] Perplexity, 「Introducing Perplexity Patents: AI-Powered Patent Search for Everyone」.  
<https://www.perplexity.ai/hub/blog/introducing-perplexity-patents>
- [33] Solve Intelligence 公式サイト. <https://www.solveintelligence.com/>
- [34] Solve Intelligence, 「Best 6 AI Patent Drafting Tools in 2025」.  
<https://www.solveintelligence.com/blog/post/best-ai-patent-drafting-tools>
- [35] DeepIP 公式サイト. <https://www.deepip.ai/>
- [36] LawSites, 「Davinci Rebrands As DeepIP」. <https://www.lawnext.com/2024/08/davinci-rebrands-as-deepip-and-announces-general-availability-of-its-ai-copilot-for-patent-prosecution.html>
- [37] XLSCOUT, 「Automated Patent Drafting with Drafting LLM」. <https://xlscout.ai/drafting-lm/>
- [38] Anaqua, 「AI Initiatives and Capabilities」. <https://www.an aqua.com/ai-initiatives-and-capabilities/>
- [39] GlobeNewswire, 「Anaqua Launches AI-Powered IP Management Platform AQX 11」, 2024 年 6 月.  
<https://www.globenewswire.com/news-release/2024/06/26/2904443/0/en/>
- [40] Clarivate, 「CPA Global becomes Clarivate」. <https://clarivate.com/intellectual-property/blog/cpa-global-becomes-clarivate/>
- [41] WIPO, 「China-Based Inventors Filing Most GenAI Patents」, 2024.  
[https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2024/article\\_0009.html](https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2024/article_0009.html)
- [42] IPRally 公式サイト. <https://www.iprally.com/>
- [43] TechCrunch, 「IPRally raises \$10.8M」, 2023 年 3 月. <https://techcrunch.com/2023/03/21/iprally-a-patent-search-engine-powered-by-explainable-ai-raises-10-8m/>
- [44] 阿部・井窪・片山法律事務所, 「JPAA launches AI guideline for patent attorneys」, 2025 年 5 月.  
<https://www.aiklaw.co.jp/en/whatsnewip/2025/05/12/5442/>
- [45] Patentext, 「A complete list of AI patent tools in 2026」. <https://www.patentext.com/blog-posts/a-complete-list-of-ai-patent-tools>
- [46] Anaqua, 「Anaqua to Unveil Breakthrough AI Solutions」, 2025. <https://www.an aqua.com/resource/anaqua-to-unveil-breakthrough-ai-solutions/>
- [47] PR TIMES, 「サマリア 調査支援機能リリース・基本特許 3 件取得」.  
<https://prt times.jp/main/html/rd/p/000000015.000086119.html>